

Medi-Way 医療通訳者紹介 Vol.10 中国語担当 後藤さん

◆なぜ医療通訳者になった？

外国語大学の中国語科を卒業し、電器メーカーで中国との貿易を担当していました。結婚を機に退職しましたが、中国語の勉強は続け、通訳案内士の資格をとりました。出産、子育てのため、暫く中国語から離れていましたが、周囲のサポートのおかげでもう一度学び直そうと思いいちました。そのうちに、ただ勉強するだけではなく、再び中国語を活かしてみたいとの思いが強くなりました。そこで、病院での通訳ボランティアを始めました。その後、多くの病院で通訳をする機会に恵まれ、Medi-Wayの遠隔通訳にも携わることができました。



◆今まで医療通訳に携わって一番嬉しかったことは？

患者様の笑顔を見るととても嬉しいです。通訳さんがいなければ何もわからない、理解できない、通訳してくれてありがとう、と言ってくれる方も多く、中には涙を流される方までいました。こんな私でも必要とされる人がいる限り、私は医療通訳を続けたいと思います。Medi-WayがNHKの取材を受け、全国放送で私の姿が流れましたが、これも嬉しかったことの一つです。

◆より良い通訳をするために心掛けていることは？

円滑なコミュニケーションのために、医療現場を理解し、医療スタッフの一員つもりで、患者様に寄り添った通訳を行えるようにと常に心掛けています。また、Medi-Wayの毎月開催される医療通訳者の勉強会に参加するとともに、最近では家事の合間に時間を見つけて、YouTubeなどの映像コンテンツで体の仕組みや疾患について学んだり、中国語のニュース、ドラマ、歌番組などを通して、楽しみながら中国語を学んでいます。これからも患者様と医療スタッフの皆様とのコミュニケーションが円滑に行われるように、しっかり頑張っていきたいと思っています。



世界の「こどもの日」



日本では5月5日が「こどもの日」。鯉のぼりを飾ったり柏餅やちまきを食べたりして、子どもの健やかな成長を願う祝日となっていますが、はて世界の国々にも「こどもの日」はあるのでしょうか？通訳者によりますと…。

中国語：あります！でも6月1日です。この日は法律で14歳未満はお休みと定められているので、幼稚園や小中学校はお休みです。

ベトナム語：はい、6月1日です。この日は「国際こどもの日」で、旧共産圏の国を中心に祝日になっていますね。もう一つ、中秋節も「こどもの日」です。もともとお月見をする日でしたが、今ではこどものための日と認識されています。

スペイン語：アルゼンチンでは8月の第3日曜日。親戚や友人らが集まって食事をし、こどもにはプレゼントがあります。ペルーもこの日です。

ポルトガル語：ブラジルは10月12日です。ブラジルでは「こども」の定義は誕生から12歳までで、それ以降19歳までは「思春期の青年」のような呼び方をします。通訳の際も日本語で「こども」と言われても、ポルトガル語にするときには言い換えたりして気をつけています。

英語：そういえばアメリカやイギリスでは「こどもの日」という考え方はありませんね。こどもと大人の線引きは高校卒業です。大学の学費も大半の学生が自分で払うか学生ローンを利用しますね。

中国語：うーん、中国の親はこどもに甘いかも…結婚する時の新居まで親が準備することもありますよ。

ひと言で「こども」「こどもの日」と言っても本当にさまざまですね。これからも世界のいろいろな事情をお届けします。乞うご期待！



ちょっと一言 それって何て言うの？

「この病院は初めてですか？」



英語「Is this your first visit to this hospital?」

中国語「您是初次来我院吗？」
(ニョンチュウツライウオウイマ?)

ベトナム語「Đây là lần đầu tiên bạn đến bệnh viện này phải không?」
(ダイラーランダウテイインハンテツベングエイナイパイコ?)

スペイン語「¿Es la primera vez que viene a este hospital?」
(エスプリメーラベスケヒエネアエスホスピタル?)

ポルトガル語「É a primeira vez que vem a este hospital?」
(エアプリメイラヴェスキヴェアエスホスピタル?)

